

Jyosho

BUKKYO
UNIVERSITY
LIBRARY
INFORMATION
BULLETIN



佛教大学図書館

◆平成13年度 図書館委員会委員

- 笹田教彰(仏教学科)
- 佐藤健(仏教学科)
- 田中典彦(仏教学科)
- 宮澤知之(史学科)
- 田中文英(史学科)
- 山口堯二(日本語日本文学科)
- 若杉邦子(中国語中国文学科)
- 宣嶋八郎(英語英米文学科)
- 高橋司(教育学科)
- 稲垣静一(生涯学習学科)
- 荒木ひさ子(臨床心理学科)
- 辰巳伸知(社会学科)
- 山口信治(応用社会学科)
- 永和良之助(社会福祉学科)
- 緒方由紀(健康福祉学科)
- 藤井透(総合研究所)
- 山田泰嗣(図書館)
- 大橋憲宏(運用課長)
- 川崎秀子(管理課長)

※学科等名列順・敬称略
●印 委員長、○印 副委員長

常照

常 照 —— 佛教大学図書館報

平成13年10月1日 発行

編集・発行 佛教大学図書館

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96

TEL 075 (491) 2141

FAX 075 (493) 9042

<http://www.bukkyo-u.ac.jp/lib>

後

記

◆今年度より、宮澤先生を中心とする協力体制により本格的に漢籍整理を開始した。宮澤先生には、中国学の基本となる四庫全書の名を冠した大型叢書の解説をお願いした。また、外部オンラインデータベースについては、夏に日経テレコン2001を導入したのを皮きりに、新たに朝日DNA、ProQuest、OCLC FirstSearchを導入したので紹介している。これらは、学内LANを経由した図書館のホームページから、利用者が直接にリンクボタンをクリックすることにより新聞記事索引、書誌索引、雑誌論文の入手が、個人レベルで大規模に容易に入手できる。いずれも利用者には無料である。図書館は外的な変革から情報のナビゲータとして自らも変わろうとしている。(秀)

Jyosho

50
AUTUMN
2001

BUKKYO UNIVERSITY LIBRARY INFORMATION BULLETIN

<http://www.bukkyo-u.ac.jp/lib>



ISSN 0388-670

常照

佛教大学図書館報

CONTENTS

四庫全書及び
四庫全書の名を冠した
大型叢書解説

この秋から追加されました
外部オンラインデータベースの
紹介 8

平成12年度 諸統計 1

サイト紹介 14

開館時間表 等 1

佛教大学図書館蔵品紹介

第十三回蔵品展「東洋書院蔵書」
西沢親方手紙展
降伏書心鏡心不問殊論時上座
杖倚腹前以怒視眼心遊象外

四庫全書及び 四庫全書の名を冠した 大型叢書解説

宮澤 知之



十数年前、四庫全書が完全な形で影印出版された。それは中国学に従事するものにとってまさに画期的な出来事であった。四庫全書は18世紀以前の漢籍の閲覧に絶大な便宜を与えてくれたからである。さらに近年、四庫全書の名を冠した大型の叢書が続々と編纂出版され、これまで簡単に閲覧できなかった漢籍を容易に手にとることができるようになった。そればかりではない。昨2000年には四庫全書の電子版が出版された。これは単に四庫全書を画像で見ただけでなく、全文が検索できるという素晴らしいものである。これらを有効に利用するには、それぞれがどのような性格のものかという知識が必須である。そこで小稿では、四庫全書の名を冠する大型叢書と電子版について簡単に解説しておきたい。

景印文淵閣四庫全書

1,500冊 目録1冊 臺灣商務印書館 1986年 本学図書館所蔵

書籍は印刷術の未熟な時代はもとより、印刷業の普及した後も自然に淘汰され、戦火に焼かれて失われる。中国は専制国家体制のもとで統治に都合の悪い書籍を大量に廃棄する反面、有用と認めた書籍は大規模に収集し、文化の保持に努めてきた希有な例である。宋代の『太平御覧』1,000巻(983年完成)、文苑英華』1,000巻(986年完成)、『冊府元龜』1,000巻(1013年完成)、明代の『永樂大典』22,877巻(1408年完成、現存は約800巻)、清代の『古今圖書集成』10,000巻(1725年完成)はその代表的なものである。これらはそれぞれの目的に従って、一つ一つの書籍を内容や音韻によって分解したうえで分類した類書である。これに対し一つ一つの書籍を分解せず、そのままの形で保存する叢書もあったが、その多くは個人の蔵書家が編纂したものであり、あまり規模の大きなものはない。

このような伝統のうに、清代乾隆37年(1772)、乾隆帝は総纂官紀昀を中心に四庫全書の編纂を命じた。それは巨大な国家権力を背景に、一定の基準によって当時収集可能な古今の書籍を集め、『永樂大典』から既に散逸した書籍を復元し、経史子集の4部に分類筆写した一大叢書である。ほぼ10年の歳月をかけ、乾隆46年(1781)最初の1部が完成した後、あわせて7部が作られ、文淵閣(北京紫禁城、現在臺灣故宮博物院蔵)、文津閣(承德避暑山莊、現在北京図書館蔵)、文源閣(北京円明園)、文溯閣(瀋陽、現在甘肅省図書館蔵)の内廷4閣のほか、民衆の閲覧に供するため文匯閣(揚州)、文宗閣(鎮江)、文瀾閣(杭州)の3閣に分置された。阿片戦争、太平天国の乱、義和団事件等いくたの戦乱をへて現存

するのは文淵、文津、文溯の3閣と一旦散逸したものの後に補修された文瀾閣の4部である(郭伯恭『四庫全書纂修考』1937年)。完全な形で伝った3部の四庫全書を比較すると内容にかなりの異同があるほか、種々の理由で著録書籍の総数は確定しにくい、四庫全書収録及び存目書の解題である『四庫全書総目提要』(1772年刊、『四庫全書総目』ともいう。以下略して『四庫提要』という)によると、3,461種、79,309巻である。乾隆以前に印行された書籍の総数には当然ながらはるかに及ばないにしても、これほどの書籍を保存した意義はまことに大きい。

なお文瀾閣四庫全書は補修されたものであるから本来の四庫全書とは異なるが、補修の際、宋元時代の秘籍からの復元を含み、独自の意義を有して貴重である。『文瀾閣四庫全書選粹』(1帙5冊、1996年)は、経史子集から各1種を選び、大きさ・装丁・紙質ほか、悉く原書のまに複製したものである。四庫全書の原貌を髣髴とさせる美本である。

四庫全書はかつて臺灣商務印書館が文淵閣本から重要なものを選んで、順次、四庫全書珍本初集、別集、二集～十二集として影印出版したが(計2,103種、1935～1981年)、1986年、あらためて文淵閣本の全てを出版した。洋装本全1,500冊のうち、最初の6冊は『欽定四庫全書総目』、『四庫抽籤書提要』、『欽定四庫全書簡明目錄』、最後の4冊は『欽定四庫全書考証』であり、別に『目録』1冊がある。『欽定四庫全書総目』は前述の『四庫提要』である。この書は漢籍分類を確立し解題を与えた重要なもので、現在中国学で用いる漢籍分類目録と漢籍解題事典の類はこれに基礎を置く。

文淵閣四庫全書補遺

35冊 北京図書館出版社 1997年 本学図書館所蔵

四庫全書は先に述べたように7部作成され、内容にかなりの異同がある。臺灣故宮博物院所蔵の文淵閣本が出版されたのを機に、北京図書館が所蔵の文津閣本と比較し、文淵閣本になく

文津閣本にある部分を抽出影印したのが、これである。ただし集部のみで、他の経史子の三部について同様の企画があるかどうか不明である。

四庫全書補正

既刊3冊 臺灣商務印書館股份有限公司 刊行中、本学図書館所蔵

四庫全書は禁燬の対象とならなくとも清朝に不都合な字句を書き換えたり、削除したりしている。例えば「虜」という字を「敵」に直す類である。そこで臺灣故宮博物院が文淵閣本の短巻・脱文

を補い、清朝が改竄した書籍の原貌を回復するため、四庫本の問題の箇所伝世の版本の当該箇所を併記したものがこれである。現在、経部・史部・子部各1冊が既刊である。

景印藻堂欽定四庫全書薈要

500冊 世界書局 1988年 本学未蔵

四庫全書の完成に先立つ乾隆44年(1779)、四庫全書よりかなり小規模ながら、重要書籍を精選した四庫全書薈要なる叢書が編纂された。2部作られ、1部は紫禁城内の藻堂に、1部は紫禁城西北にある長春園の味腴書屋に分置された。現存は藻堂のものだけで、463種、20,828巻である。皇帝専用であった四庫全書

薈要は、四庫全書が通行本を底本としたのに対して内府所蔵本など善本を採用したほか(210種が四庫全書と底本が異なる)、四庫全書が政治的理由で行った改竄・削除がなく、詳密な校正を施した点で貴重である。臺灣の世界書局が影印出版した。

四庫全書存目叢書

1,199冊 目録1冊 莊嚴文化事業有限公司 1997年 本学図書館所蔵

四庫全書が編纂されたときの一定の基準とは、最も簡潔な表現を求めれば「世道人心に益有る者」(『四庫提要』巻首)を著録することであった。そうすると、この基準にはずれるものが出てくるが、それには二種類ある。一つは「俚浅譌謬」の書であり、本文を筆写せずに書名だけをとどめ、提要が附せられた。いわゆる四庫全書存目で、6,793種、93,551巻(この数字にも異同がある)にのぼり、四庫全書著録書のほぼ二倍にあたる。四庫全書に著録されなかったため現在失われた書籍は多く、1997年に出版された四庫全書存目叢書は、『四庫提要』所載の存目書のうち4,508種の現存を確認し影印したものである。この叢書の編纂縁起によると、「俚浅譌謬」の書と判定される具体的な内容は大きく五つに分け

られる。一に清朝に対する批判の言を含むもの、二に礼教・伝統に反し異端を宣伝するもの、三に陳腐な書・偽託の書、四に宋元以前の書を尊ぶという四庫全書編纂の原則によって著録されなかった明以後の書(例えば、個人の詩文集である集部別集類の書を例にとると、宋元以前の書で四庫全書著録は629種、存目は133種であるのに対し、明人の書は著録238種、存目852種である)、五に四庫全書著録書の別本である。この叢書には五番目の別本もかなり含まれているが、清朝の都合で存目に入れられただけで著録されなかった書籍も、現代の目からすると、四庫全書著録書に匹敵する価値を有することは言うまでもない。四庫全書存目叢書は編輯出版の経緯からして、稀覯書を多く含むことも特徴である。



図書館4階閲覧室西側

四庫全書存目叢書補編

100冊予定 齊魯書社 未刊

四庫全書存目叢書の編纂時に収録できなかった存目書300餘種を集めたものである。多くが稀観書である。

四庫禁燬書叢刊

310冊 目録索引1冊 北京出版社 2000年 本学図書館所蔵

四庫全書に著録されなかった書籍の二つめは、「本朝に抵触する者」(『四庫提要』巻首)である。とくに明末文人の書はその対象となった。「本朝に抵触」すると判定された書籍は、全燬(版木全体の焼却)・抽燬(版木の部分的焼却)の処置が講じられた。乾隆43年(1778)清朝は初めて禁燬基準を示し、以後数多くの書籍が禁書の対象となった。各種の禁燬書目を調査した岡本さえ氏の研究によると、禁燬理由の多い順は、1. 錢謙益・呂留良等特定の文人の書、2. 漢民族の英雄・遺王等をテーマにしたもの、3. 明代の野史、4. 軍事・辺防を論じた書、5. 政治・朝廷を論じた書、6. 異端的な文学・思想の書、である(『清代禁書の研究』1996年)。こうして四庫全書編纂を契機にかなり多くの書籍が失われることとなる。四庫禁燬書叢刊の編纂縁起の言うところでは、

続修四庫全書

1,800冊予定 上海古籍出版社 刊行中 本学図書館所蔵

四庫全書は乾隆までの書籍を著録したものである。しかし書籍は時代が下るほど急速に増加する。近代以前のいわゆる漢籍は当然ながら清代のものが多く、とりわけ清末の書が多い。続修四庫全書は四庫全書の体例にならって、四庫全書以後の書籍に重点を置いて収録したものである。編纂縁起によると、収録範囲・基準は以下のようである。

- 1 四庫全書が遺漏・禁燬等の理由で収録しない書籍で学術価値を有するもの。
- 2 四庫全書が存目に入れたもののうち学術価値を有するもの。
- 3 四庫全書に収められるが版本が悪く、善

四庫全書及び
四庫全書の名を冠した
大型叢書解説

禁燬の対象となった書籍の総数は、各種の禁燬書目によると、全燬書2,400餘種、抽燬書400餘種の合計約2,800種と推定され、この叢書編輯の過程で現存の確認された禁燬書は約1,500種である。四庫禁燬書叢刊はこの1,500種全てを集めたものではなく、姚観元『清代禁燬書目』、孫殿起『清代禁書知見録』、雷夢辰『清代各省禁書彙考』、陳乃乾『索引式的禁書総録』を主要な収録範囲とし、また乾隆以後の禁書の対象となった小説・戯曲は収録していない。その結果収められた漢籍は634種である。この叢書はいったん禁燬の対象となった書籍を収めるから当然多くの稀観書を含み、さらに清朝が禁燬した書籍は中国文化を研究するうえでは実はかえって有意義であるという点で重要である。

本に代えるもの。

- 4 四庫全書未収の乾隆・嘉慶以来の著述で重要なもの。
 - 5 四庫全書が収録しない戯曲・小説で重要な文学的価値を有するもの。
 - 6 中国国外に所在する漢籍で選録条件にあうもの。
 - 7 新出土の簡帛類の古籍で書籍の形をなすもの。
- また凡例によると、曆書・家譜・登科録・郷試録・会試録・縉紳録の類は概ね収録せず、兵書・志書・医薬・方剤の書は厳選、仏教典籍は中国で著述されたうちで重要なものを収録、敦煌遺書の零

篇断簡で編集されていないものは収録しないとする。現在(2001年9月)経部・史部・子部と集部別集類まで、計1,400冊が刊行されている。

四庫全書未収書輯刊

300冊 目録1冊 北京出版社2000年 本学図書館未蔵

1931年『四庫未収書分類目録』が編輯された。この目録は四庫全書編纂時に発見されなかった書籍および四庫全書編纂以後1920年代までに書かれた漢籍で当時存在したものを対象とした目録で、27,000餘種を収める。乾隆以前の書籍に関しては、四庫全書未収書輯刊がこの目録に依拠して編纂するのに対し、四庫全書存目

完結すると収録書は5,000餘種に達する予定である。なお四庫全書存目叢書とは別の企画であるため、書目を比較すると重複の書がある。

叢書と続修四庫全書は基本的に『四庫提要』に基づいた編輯という違いがある。そのため、四庫全書存目叢書・続修四庫全書との重複をさけてもなお約2,000種の書籍が収録されることになった。2,000種の内訳は唐代以後明代までの書籍が約300種、乾隆以後は約1,700種である。以上は出版案内による記述である。

いわゆる漢籍はいったいどのくらいあるだろうか。確度の高い推定は困難であるが、歴代の各種書目の総計は一つの目安となる。ある統計では、漢代から清代まで印行された書籍は、181,700餘種、2,367,000餘巻にのぼり、そのうち清代に印行された書が大半を占めると言う(『四庫全書禁燬書叢刊編纂縁起』)。ただしこの数値には統計の根拠が示されていないので、確かさの程度は不明であるが、このうち幸い散逸を免れ、現在にまで伝えられた漢籍がいったいどのくらいあるのか、残念ながら私はデータをもっていない。

景印文淵閣四庫全書・四庫全書存目叢書・同補編・四庫全書禁燬書叢刊・続修四庫全書・四庫全書未収書輯刊を合わせると、予定を含んで確定が難しく、また重複書があるけれども、洋装本1頁にもとの漢籍2葉を影印する形式で計5,209冊、約15,900種が収められる(目録を除く)。この数字は先述の18,700餘種の9%弱にあたるが、現存の漢籍に対する割合となると、これよりもかなり増加するはずである。それゆえ、この世に存在する漢籍は、これらの叢書の刊行によって、容易に閲覧できるものが格段に増加したのである。もちろんこれらの叢書に収録されていない漢籍はまだ多い。続修四庫全書が収録の対象とせず、四庫全書未収書輯刊で補充できなかったものが多数残されているからである。因みに、最近刊行された『清人別集総目』(3冊、安徽教育出版社、2000年)には、現存の

清代詩文別集だけで2万名にのぼる作家、約40,000種を数えている。これらの清代文集は各国に散在するため容易に閲覧することはできない。しかし、おそらく明代以前の主要な漢籍については、特定のジャンルのものを除いて、これらの叢書のいずれかに見いだす可能性が高まったことと思われる。本学はこのうち未収書輯刊と未刊の存目叢書補編を除いて架蔵する。本学の研究条件はこの点ではかなり充実しつつある。

さて膨大な漢籍群から、必要なものを取り出したり概要を知ったりするためには、分類目録・解題書が重要である。この点でもっとも有用なものは小稿で何度も参照している『四庫提要』である。著者名・書名索引が附せられ簡便に検索できるのは臺灣商務印書館が『合印四庫全書総目提要及四庫未収書目禁燬書目』(全5冊)の名で発行したものである。しかし『四庫提要』は四庫全書著録書と存目書を解題するだけなので、それ以外は、『続修四庫全書総目提要』を見ればよい。

『続修四庫全書総目提要』は、すでに解説した刊行中の続修四庫全書の総目提要ではない。これは1925年日本の東方文化事業総委員会が開始した続修四庫全書の編纂事業の成果である。当時中国の著名な学者を多数動員して遂行されたこの事業は、目録・提要の作成が進行したところで日中戦争が激化して完成を見なかった。すでに一部分油印されていた稿本は日本におくられ、のち臺灣で四部分類で整理したうえ出版

四庫全書及び
四庫全書の名を冠した
大型叢書解説

された。これが『続修四庫全書提要』(13冊、臺灣商務印書館、1972年、本学史学科所蔵)であり、10,070種の書籍を解説する。戦後中国科学院図書館に帰属した稿本の全ては、1996年影印出版された。これが『続修四庫全書総目提要(稿本)』(38冊、齊魯書社、1996年、本学図書館所蔵)で、33,000餘種の書籍を解説する。ただし本文では提要執筆者の順で配列して分

類せず、索引巻で分類している。続修四庫全書編纂事業は実現しなかったが、その過程で前述の『四庫未収書分類目録』と2種類の提要が著されたのである。2種類の提要は、目録作成以後の1930年代までを対象とし、四庫全書未収の仏教經典、道教經典、明人の著述、禁燬書、小説戯曲、地方志等を含むのが特色である。『四庫提要』と合わせると、約43,300種の漢籍の解説が得られる。

文淵閣四庫全書電子版(原文及全文検索版)

2000年 迪志文化出版有限公司 本学図書館所蔵

中国の社会・文化を研究するとき、必要な資料をどのように収集するかは大きな問題である。重要書籍を一つずつ巻首から巻末まで目を通すことが基本であり、我々は日常の営為としてこの作業を行っている。しかし、関係資料を集中的に収集する必要に迫られたり、典拠・用例をできるだけ広範囲に、かつ敏速に調査したりしなければならぬときがある。短時間で漢籍を検索しようとするれば、四庫全書所収の書籍については、文章の題目を分類配列した『四庫全書文集篇目分類索引』(5冊、臺灣商務印書館、1989年、本学史学科・中国語中国文学科所蔵)、『四庫全書伝記資料索引』(3冊、臺灣商務印書館、1990年、本学中国語中国文学科所蔵)、『四庫全書藝術分類索引』(9冊、臺灣商務印書館、1993年、本学中国語中国文学科所蔵)等を使って、ある程度の能率化を図ったり、また哈佛燕京学社の引得シリーズや香港中文大学中国文化研究所の古籍逐字索引叢刊を代表とする各種の索引類を片端から引いたりするのが常である。だが文章の題目から内容が推測できないものが多くあり、また索引のない漢籍や、典拠となる漢籍が何かという予想がつかないときは大変である。近年、漢籍の電子化が進み、インターネット上での検索も可能になったが、膨大な漢籍のごく一部分にとどまるのはやむを得ない。

昨2000年に出版された文淵閣四庫全書電子版(原文及全文検索版)は、このような要望に答えてくれるものである。出版されたものには単体仕様とネットワーク仕様のものがあるが、本学が購入したのは単体用である。以下、概要を

紹介する。構成は、CD-ROM182枚(原文画像、テキストデータ、検索プログラム)、使用手冊、安裝指引から成る。すべてインストールすると約110GBを要する。底本は景印文淵閣四庫全書で、一部の入力・校正ミスは認められるが、ほぼ忠実なテキスト化に成功しているようである。約230餘万葉(460餘万頁)の原書の画像の閲覧のほか、総字数約7億字の一括検索が可能である。ただし底本の14冊分に相当する非漢字の書(満文、蒙文、梵文、舞譜、楽譜)は検索できない。本学図書館4階には電子版のテキスト部分だけをインストールしたものを備えた。原文は同じフロアに景印文淵閣四庫全書が排架してあるので、すぐに確認することができる。OSはWindows2000で、日本語または中国語のIMEを適当に切り替えて検索する語句を入力すればよい。

検索の方法は、全文検索、分類検索、書名検索、筆者検索の4通りがある。全文検索は典籍のテキストデータについて語彙を入力して検索するもので、分類・書名・著者の範囲を指定できるほか、1巻ごとにAとB、A或B、A非Bの条件を加えることもできる。分類検索、書名検索、筆者検索は該当の書名を表示するもので、検索画面上に『四庫大辞典』(2冊、吉林大学出版社、1996年、本学史学科所蔵)の当該項目が表示できる。検索に当たって、漢字関連の設定をしておけば、異体字・通假字・形の近似する字も同時に、また簡繁の別・正偽の別・中日の別・新旧の別なく検索することが可能である。このほかの主要な機能としては、検索結果を表示する画面で難読の文字

を指定して『中華古漢語字典』(上海人民出版社、1997年)を呼び出す機能、検索結果を保存する機能、西暦・年号・干支を相互に換算したり、皇帝在位年を表示したりする機能、検索結果の画面上で標点をつける機能、メモをつける機能などがある。

私は大学院に在籍していたころ、宋代の勸農をテーマに論文を書いたことがある。勸農文の実例を集めるため、文集類をはじめとする宋代の史籍を1葉ずつめくって検索した。毎日2、3時間ほど費やし、半年かかった。このたび、電子版四庫全書でためしたところ、わずか10秒ほど

で、当時私が手作業で検索し得た勸農文の大半が表示された。ただただ隔世の感を覚えた。

電子版四庫全書は多様な機能を備えており、中国学を志す者が有効に利用すれば、資料収集・検索に要する時間が一気に短縮できる。しかし、いかにも便利な電子版四庫全書ではあるが、使い方を誤ると研究に重大な欠陥をもたらす。ややもすると文脈から切り離された語句の収集に終始し、資料の精読がおろそかにされるという、一般に電子版漢籍を利用する際におきちな通弊は言わずもがな、四庫全書電子版について言えば、四庫全書が本来もつ欠陥、すなわち清朝による文字の改竄、文章の削除、鈔写の誤り、さらにに基づいた版本が悪かったり、全巻揃っていない欠陥をそのまま踏襲している問題を軽視することにつながる。四庫全書は、これによって散逸を免れた書籍は別にして、よいテキストでない以上依拠することはできないのである。四庫全書および電子版の限界を知り、つねに他の善本にあたり直す必要のあることを改めて強調したい。

(みやざわ ともゆき 文学部教授 史学科)



図書館4階CD-ROMコーナーにて使用ができる。

CD-ROM版『四庫全書』

『四庫全書』電子化のプロジェクトは、1996年にはじまった。7億字に達する膨大な情報をOCRと人手でテキストデータ化するため、最盛期には3,600人のスタッフが動員された。(写真)上はCD-ROM版のパッケージ、下はパソコンにむかうスタッフ。



写真提供:書同文電腦技術開発 迪志文化出版

<http://www.honco.net/japanese/06/caption/caption-3-08-j.html>

この秋から追加されました 外部オンラインデータベース の紹介

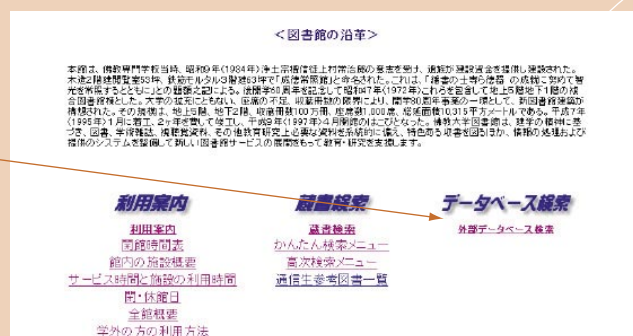
■各外部データベース起動・終了方法

外部データベースは、学内にて
LAN接続されているすべてのパソコンから
無料で利用できます。

[1] 図書館HP

<http://www.bukkyo-u.ac.jp/lib/index.html>にリンクが作成されています。

“外部データベース”の
リンクをクリックすると外
部データベースのリスト
ページが表示されます。



[2] 外部データベースのリストから、それぞれのデータベースの リンクをクリックして下さい。

外部データベース	データベース名	内容説明
	日経テレコン21	新聞・雑誌記事検索(日経四紙のみ・PDF)
	朝日DNA	新聞全文検索(日経四紙のみ・PDF)
	企業情報	企業情報(日経会社プロフィール)
	企業決算	企業決算
	人事情報	人事情報(日経WHO'S-WHO)
	人事記事検索	人事記事検索
	収録記事:朝日新聞記事(東京本社)のデータベース	収録記事:朝日新聞記事(東京本社)のデータベース
	1984年8月以降、当日の朝日紙で	1984年8月以降、当日の朝日紙で
	各地方版は1990年代より	各地方版は1990年代より
	AERA「週刊朝日」(※いずれもテキストデータのみ)	AERA「週刊朝日」(※いずれもテキストデータのみ)

使いたいデータベースの
名前をクリック。
データベースは随時追加
更新します。

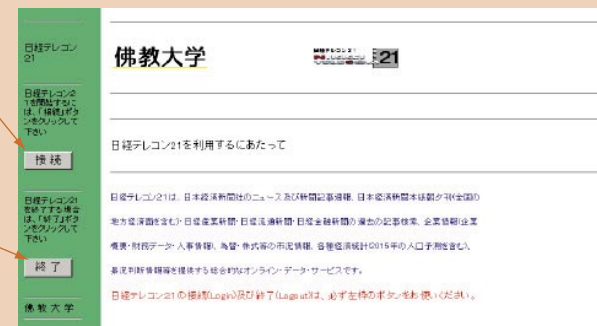
常照

日経テレコン21

外部データベースのリストから、日経テレコン21のリンクをクリックすると、接続専用のページが表示されます(学内LANを経由しないとこのページは表示されません)。

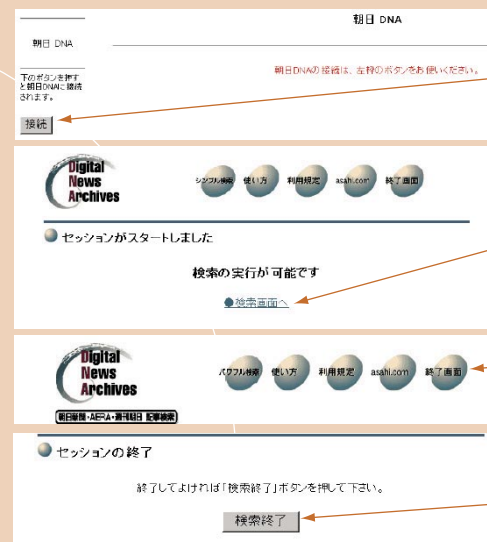
“接続”をクリックすると、
自動的に日経テレコン21
にログインします。

日経テレコン21を終了す
る場合は、“終了”をクリ
ックして下さい。



朝日DNA

外部データベースのリストから、朝日DNAのリンクをクリックすると、接続専用のページが表示されます(学内LANを経由しないとこのページは表示されません)。



① “接続” ボタンをクリッ
クすると右側の画面が
変わります。

② 右側の画面の“検索画
面へ”の文字をクリッ
クして下さい。

① 右側の画面の右上にあ
る“終了画面”の文字
をクリックして下さい。

② “検索終了”のボタン
をクリックして下さい。

ProQuest(R)

電子ジャーナルサービス

外部データベースのリストから、ProQuestのリンクをクリックすると、接続専用のページが表示されます(学内LANを経由しないとこのページは表示されません)。

3種類の検索画面から選
択することができます。



この秋から追加されました 外部オンラインデータベース の紹介

■各外部データベースの機能紹介

日経テレコン21

日経テレコン21は、日本経済新聞社のニュース及び新聞記事速報、日本経済新聞本紙朝夕刊（全国の地方経済面を含む）・日経産業新聞・日経流通新聞・日経金融新聞の過去の記事検索、企業情報（企業概要・財務データ・人事情報）、為替・株式等の市況情報、各種経済統計（2015年の人口予測を含む）、景況判断意情報等を提供する総合的なオンライン・データ・サービスです。



検索条件:

会社名: 前方一致

電話番号: (ハイフン不要・半角数字)

取引銀行: 前方一致

設立年月: 西暦 から まで (YYYYMM)

会社名: 前方一致

電話番号: (ハイフン不要・半角数字)

①画面上部のメニューから検索したい内容の項目をクリックして選べます。

②キーワードを入力して“検索実行”のボタンをクリックします。

*キーワードに関するヘルプは、[?]をクリックすると表示されます。

朝日DNA

朝日新聞（東京本社）・「週間朝日」の1984年以降、各地方版の1990年以降、当日の朝刊までの記事全文検索が可能です。（*いずれもテキストデータのみのみ）

キーワードや、発行日を入力して“検索実行”ボタンをクリックします。

*詳しい使い方については、“使い方”のページをご覧ください。



キーワード検索

検索条件

検索語

見出しと本文 ☒ 見出し ☐ 本文

AND AND

発行日

年 月 日から 年 月 日まで

「X月X日からX月X日まで」「X月X日まで」「X月X日まで」「X月X日から」の4通りの期間指定が可能です。空白の場合は、すべての期間をカバーします。

常照

ProQuest(R)

電子ジャーナルサービス

人文、社会科学、心理学、芸術、ビジネス、教育、金融、福利厚生、法律、医学、政治、宗教、科学技術といった分野の学術雑誌を、キーワードで記事を検索、雑誌名を選択して記事の本文を表示することが可能です。データの更新は毎日行われ、速報性にも優れています。また、New York Timesの全文（1999年一現在）、USA TODAYの全文（1996年一現在）、Wall Street Journalの抄録（1982年一現在）も検索できます。

ProQuest®キーワード検索(日本語版)

この画面では、フリーキーワードで記事を探すことができます

単語または語句を入力して下さい。

☒ スペル変化、語尾変化も含めた検索

☒ 関連語も含めた検索

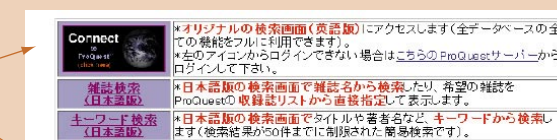
出版年: (1999年以降)

出版物のタイプ: All

検索の対象: 記事の全文

*“キーワード検索(日本語版)”では、対象誌を意識することなく全文検索が可能です。キーワードを入力して、“Search”ボタンをクリックします。

*詳細な検索はオリジナル版で行ってください。日本語のマニュアルが用意されていますのでリンクをクリックして下さい。



日本語操作マニュアル(ProQuest 5.0対応版)

OCLC FirstSearch

Coming Soon

世界最大の学術情報データベース

12～13世紀の手稿本から、最新の先端技術レポート、さらにCDやビデオといった様々な資料の書誌情報を幅広く収録している世界最大の書誌データベース「World Cat」や、12,000タイトル以上の雑誌の最新記事情報をいち早く検索できる「Article First」、会議録情報が調べられる「Proceedings First」などのOCLC独自のデータベースに加え、「Books In Print」、「Sociological Abstracts」といったおよそ80種類のデータベースが利用できます。

*検索キーワードを入力し、分野を選択してから、“Search”ボタンをクリックします。

*リストから、検索する対象のデータベースをあらかじめ選択することも可能です。

FirstSearch Home

Welcome to the OCLC FirstSearch service, connecting you to information in a wide range of subjects in 55 databases.

Looking for a general database to search? Try:

ArticleFirst • Article • EIC • JournalArchive • NetFirst • Web Resources • WorldCat • Books etc.

Search for:

Int: Select a Topic or Database

Jump to Advanced Search: Select a Database to Search

平成12年度

諸
統
計

図書館統計は、業務統計・調査統計・内部統計・外部統計の区別がある。大学図書館は、各種機関から多くの統計資料を要求されるために日常的に調査集計をしている。

図書館の日常業務の内部統計を第三者の目に触れるよう公開することは、利用者の評価、自己点検・評価の材料の一つになる。しかし、図書館サービスの質の評価はここで計れない。大学経営が厳しい状況にある中、経営目標としての図書館効果のような視点も必要である。

当年度受入の整理冊数は前年度に比べ10.7%の増である。別途、応用社会科学設立時の洋書2900冊を整理した。これらを含めると、前年度比27.0%の増である。(注:コンピュータ処理上、過去に受入分はカウントできない)

貸出統計は、2.7%の増で前年度とあまり変化は見られない。

◆主題別貸出冊数

主題別	通 学				通 信				研究員・研究生			教職員			その他		総 計	
	学 部		大学院		学 部		大学院											
	和 書	洋 書	和 書	洋 書	和 書	洋 書	和 書	洋 書	和 書	洋 書	和 書	洋 書	和 書	洋 書	和 書	洋 書	和 書	洋 書
0類 総 記	166	0	36	3	84	0	0	0	0	0	42	0	62	0	390	3		
1類 哲 学	8,973	24	2,449	111	3,412	0	329	2	83	6	578	18	554	28	16,378	189		
(14)心理学	(2,009)	(0)	(353)	(0)	(417)	(0)	(5)	(0)	(4)	(0)	(20)	(0)	(116)	(9)	(2,924)	(9)		
(18)仏教	(4,212)	(21)	(1,581)	(75)	(1,849)	(0)	(240)	(2)	(63)	(6)	(376)	(12)	(265)	(6)	(8,586)	(122)		
2類 歴 史	6,891	0	898	6	1,419	1	169	0	78	0	381	0	243	5	10,079	12		
(21)日本史	(3,979)	(0)	(538)	(0)	(708)	(0)	(87)	(0)	(44)	(0)	(237)	(0)	(88)	(0)	(5,681)	(0)		
(22)東洋史	(911)	(0)	(171)	(4)	(319)	(0)	(36)	(0)	(0)	(0)	(34)	(0)	(34)	(2)	(1,505)	(6)		
3類 社会科学	17,012	6	1,369	46	9,395	0	219	0	44	0	447	23	413	18	28,899	93		
(36)社会学	(7,432)	(4)	(750)	(37)	(5,086)	(0)	(90)	(0)	(25)	(0)	(147)	(12)	(147)	(10)	(13,677)	(63)		
(37)教 育	(5,053)	(2)	(154)	(1)	(2,937)	(0)	(73)	(0)	(1)	(0)	(101)	(1)	(147)	(8)	(8,466)	(12)		
4類 自然科学	1,790	1	147	2	780	0	14	0	1	0	72	0	81	2	2,885	5		
5類 技 術	988	0	23	1	125	0	3	0	0	0	18	0	24	0	1,181	1		
6類 産 業	705	1	83	0	162	0	35	0	1	0	29	2	41	0	1,056	3		
7類 芸 術	2,134	0	261	2	466	0	55	0	8	0	109	0	211	2	3,244	4		
8類 言 語	3,803	7	477	35	1,323	6	58	1	23	0	249	12	317	10	6,250	71		
(81)日本語	(170)	(0)	(31)	(0)	(174)	(0)	(2)	(0)	(6)	(0)	(43)	(0)	(42)	(0)	(468)	(0)		
(82)中国語	(143)	(0)	(45)	(3)	(55)	(0)	(6)	(0)	(2)	(0)	(11)	(0)	(45)	(5)	(307)	(8)		
(83)英 語	(116)	(4)	(61)	(9)	(313)	(3)	(11)	(0)	(2)	(0)	(2)	(0)	(32)	(0)	(537)	(16)		
9類 文 学	5,546	32	857	57	2,215	49	288	7	13	4	293	53	273	11	9,485	213		
(91)日本文学	(3,467)	(0)	(554)	(0)	(1,100)	(0)	(20)	(0)	(13)	(0)	(193)	(0)	(123)	(0)	(5,470)	(0)		
(92)中国文学	(875)	(2)	(74)	(3)	(194)	(0)	(60)	(0)	(0)	(0)	(37)	(0)	(20)	(0)	(1,260)	(5)		
(93)英米文学	(708)	(27)	(173)	(46)	(679)	(45)	(205)	(7)	(0)	(0)	(33)	(48)	(71)	(4)	(1,869)	(177)		
計	48,008	71	6,600	263	19,381	56	1,170	10	251	10	2,218	108	2,219	76	79,847	594		
中国書	133		188		37		6		0		77		88		529			
国 書	9		37		3		0		0		1		1		51			
仏 書	1		4		0		2		0		0		0		7			
宗 書	4		14		0		7		0		12		0		37			
文 庫	16		34		1		3		0		30		3		87			
マイクロ	6		12		0		1		0		5		1		25			
総 計	48,248		7,152		19,478		1,199		261		2,451		2,388		81,177			

(注)その他は、通信大学院・卒業生等を含む。()内は、内数である。

◆蔵書数(平成13年5月1日現在)

蔵 書 数	日本語	外国語	計
	591,797	141,403	733,200
雑誌種数	日本語	外国語	計
	5,705種	2,061種	7,766種

(注)図書は、大学全体の蔵書数

◆資料区分別受入冊数

資料区分	和 文	中国文	欧 文	その他	総 計
図書(単行本)	18,019	3,211	2,756	1	23,987
逐次刊行物	2,949	1,071	1,034	0	5,054
マイクロ資料	174	0	0	0	174
地図資料	5	3	1	0	9
楽譜資料	0	3	0	0	3
録音資料	69	0	0	0	69
映像資料	325	0	0	0	325
静止画像	3	0	0	0	3
機械可読ファイル	158	0	0	0	158
手 稿	1	0	0	0	1
その他	1	0	0	1	2
小 計	736	6	1	1	744
合 計	21,704	4,288	3,791	2	29,785

(注)図書(単行本)は、大学資産として受け入れられたもののすべての冊数である。通常整理と簡易整理(学術研究助成分など)に分けられる。逐次刊行物(雑誌)は、製本されたものの登録数である。機械可読資料などの印刷媒体以外の資料は、すべて和資料に含む。

◆主題別整理冊数(単行本)

主題別	和 書	中国書	洋 書	計
0類 総 記	1,209	252	47	1,508
1類 哲 学	1,960	250	480	2,690
(14)心理学	(261)	(1)	(89)	(351)
(18)仏 教	(812)	(99)	(195)	(1,106)
2類 歴 史	3,058	869	195	4,122
(21)日本史	(1,985)	(6)	(44)	(2,035)
(22)東洋史	(308)	(589)	(36)	(933)
3類 社会科学	4,574	182	505	5,261
(36)社会学	(1,570)	(15)	(200)	(1,785)
(369)社会福祉	(743)	(0)	(13)	(756)
(37)教 育	(1,120)	(11)	(134)	(1,265)
4類 自然科学	529	14	45	588
(49)医 学	(318)	(4)	(29)	(351)
5類 技 術	267	15	45	327
6類 産 業	218	12	21	251
7類 芸 術	1,264	150	65	1,479
8類 言 語	484	116	136	736
(81)日本語	(299)	(1)	(1)	(301)
(82)中国語	(67)	(112)	(39)	(218)
(83)英 語	(28)	(0)	(27)	(55)
9類 文 学	1,541	577	625	2,743
(91)日本文学	(1,213)	(0)	(0)	(1,213)
(92)中国文学	(110)	(573)	(9)	(692)
(93)英米文学	(107)	(0)	(538)	(645)
総 計	15,104	2,437	2,164	19,705

(注)平成12年度に大学に受入された単行書の通常整理分である。()内は、内数である。

◆私立大学図書館協会関係役員会出席、研修会参加一覧(2001年度前半)

会議名・研修会名	実施月日	開催地	会 場	参加・出席数
私大図協第1回常任幹事会	4月24日	名古屋	中京大学	2
第1回大学図書館協力ニュース編集委員会	4月26日	東京	明治大学	1
国際図書館協力シンポジウム	5月11日	神 戸	関西学院大学	1
私大図協京都地区運営会議	5月25日	大 津	成安造形大学	2
(春季)私大図協京都地区相互協力連絡会	5月25日	大 津	成安造形大学	2
(春季)私大図協京都地区協議会(第118回)	5月25日	大 津	成安造形大学	2
仏教図書館協会西地区協議会	6月12日	京 都	龍谷大学大宮	2
私大図協西地部会第1回役員会	6月15日	高 松	オークラホテル丸亀	2
私大図協西地部会総会	6月15日	高 松	四国学院大学	2
第2回大学図書館協力ニュース編集委員会	6月20日	東 京	明治大学	1
第50回国公私立大学図書館協力委員会	7月 6日	京 都	京都大学	2
仏教図書館協会総会(第36回)	7月 6日	京 都	京都女子大学	1
金沢工業大学図書館・情報科学に関する国際ラウンドテーブル会議	7月12~13日	金 沢	金沢工業大学	2
私大図協京都地区2001年度相互協力連絡会	7月25日	大 津	龍谷大学瀬田	2
図書館共同事業検討委員会	8月 3日	京 都	大学コンソーシアム京都	1
私大図協第1回東西合同役員会	8月 6日	東 京	明治大学	2
私大図協総会・記念講演	8月 7日	東 京	明治大学	2
私大図協研究大会	8月 8日	東 京	明治大学	2
図書館等職員著作権実務講習会(文化庁)	8月29~31日	神 戸	神戸大学	2
第3回大学図書館協力ニュース編集委員会	9月 3日	東 京	明治大学	1
私大協・大学図書館司書主務研修(通産第41回)	9月3~7日	東 京	東京ガーデンパレス	2
平成13年度新CAT/ILLシステム説明会(国立情報研究所)	9月14日	京 都	京都大学	2
平成13年度学術雑誌総合目録欧文編データ更新説明会(国立情報研究所)	9月14日	京 都	京都大学	2
私大図協京都地区図書館協会研修大会	9月21日	富 山	富山国際大学	2
(秋季)私大図協京都地区協議会(第119回)	9月28日	京 都	種智院大学	2
(秋季)私大図協京都地区相互協力連絡会	9月28日	京 都	種智院大学	1

(注)毎年開催されるものには、年度表記は省略

サイト紹介

<http://www.nira.go.jp/>

総合研究開発機構(NIRA)

総合研究開発機構(NIRA)は、1974年、産業界、学界、労働界などの代表の発起により、総合研究開発機構法に基づいて政府に認可された政策志向型の研究機関である。

NIRAの主な目的は、現代社会が直面する複雑な諸問題の解明に寄与するため、独自の視点から調査研究を実施することで、時代の潮流をとらえつつ、政治、経済、国際、社会、技術、地方制度などの広範な領域にわたっている。



● NIRA大来記念政策研究情報館(専門図書館) library@nira.go.jp

1994年に設立。内外のシンクタンクに関する情報を収集・分析し、また、政策研究に関する情報を収集・提供、レファレンスサービスを中心に活動している。

● シンクタンク情報

国内外シンクタンクの機関情報や国内シンクタンクの研究成果情報を紹介しています。国内シンクタンクは、機関名、所在地のほか専門分野によっても探すことが可能です。

シンクタンクのシンクタンクとして、公共政策研究機関に関する調査・分析を実施。国内の公共政策研究機関が行った研究内容を毎年、「シンクタンク年報」にまとめている。3年に一度、世界のシンクタンクの調査を実施、「NIRA's World Directory of Think Tank」にまとめ発行している。

● リンク集

国内外シンクタンクや官公庁・大学等のホームページ・リンク集です。

開館時間表

2001年度(秋学期)

10月	
1月	9:00~20:00
2火	
3水	
4木	
5金	
6土	閉館
7日	
8月	法定電気点検のため閉館
9火	9:00~20:00
10水	
11木	
12金	
13土	
14日	
15月	
16火	
17水	
18木	
19金	
20土	
21日	
22月	
23火	創立記念日のため閉館
24水	9:00~20:00
25木	
26金	
27土	9:00~17:00
28日	
29月	9:00~20:00
30火	月例休館日
31水	

11月	
1木	9:00~20:00
2金	9:00~17:00
3祝	閉館
4日	9:00~20:00
5月	
6火	
7水	
8木	入試のため休館
9金	
10土	
11日	
12月	
13火	
14水	
15木	9:00~20:00
16金	
17土	
18日	
19月	
20火	
21水	
22木	推薦入試のため休館
23祝	
24土	9:00~20:00
25日	
26月	
27火	9:00~20:00
28水	
29木	月例休館日
30金	

12月	
1土	9:00~20:00
2日	
3月	
4火	
5水	
6木	
7金	
8土	
9日	
10月	
11火	
12水	館内整理のため休館
13木	
14金	
15土	
16日	
17月	
18火	
19水	年末休暇のため閉館
20木	
21金	
22土	
23日	館内整理のため休館
24振祝	
25火	年末休暇のため閉館
26水	
27木	
28金	
29土	
30日	
31月	

1月	
1祝	年始休暇のため閉館
2水	
3木	
4金	
5土	
6日	11:00~20:00
7月	9:00~20:00
8火	
9水	
10木	
11金	
12土	
13日	
14祝	
15火	
16水	
17木	
18金	9:00~20:00
19土	
20日	
21月	
22火	
23水	
24木	
25金	9:00~17:00
26土	
27日	
28月	
29火	月例休館日
30水	
31木	

2月	
1金	一般入試のため休館
2土	
3日	
4月	9:00~17:00
5火	
6水	
7木	
8金	9:00~20:00
9土	
10日	
11祝	
12火	9:00~17:00
13水	
14木	
15金	
16土	9:00~20:00
17日	
18月	9:00~17:00
19火	
20水	
21木	
22金	9:00~17:00
23土	
24日	
25月	閉館
26火	
27水	
28木	

3月	
1金	9:00~17:00
2土	閉館
3日	
4月	月例休館日
5火	一般入試のため休館
6水	
7木	9:00~17:00
8金	
9土	閉館
10日	
11月	9:00~17:00
12火	
13水	
14木	
15金	館内整理のため休館
16土	
17日	9:00~20:00
18月	館内整理のため休館
19火	
20水	
21祝	閉館
22金	
23土	館内整理のため休館
24日	
25月	9:00~17:00
26火	
27水	
28木	
29金	
30土	
31日	

*変更される場合があります。